

令和8年度 学部運営計画

1 小学部

(1) 教育目標

一人一人のよさや個性を見つけ、学校生活を楽しみながら生活の基礎的な力を育てる。

【めざす児童像】

- ・いろいろなことを学ぼうとする子（自分の考えを表現し、生き生きと活動する人）
- ・楽しく学ぶ子（楽しんで学び続ける人）
- ・仲間とともに学び合う子（互いのよさを認め合い、つながりをもてる人）
- ・元気に学ぶ子（命と心身の健康を大切にする人）

(2) 指導の重点

各教科	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別の指導計画」における各指導の形態別の目標達成のために適切な学習集団を形成し効果的な指導に努める。 ・指導の系統性や指導段階を踏まえた指導内容を選択・組織するため、教科別、領域別指導による教育課程の編成に努める。各教科等を合わせて指導を行う場合は教科別、領域別指導との調和的編成に努める。 ・指導内容を適切に精選し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ると共にこれらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育てる。
特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育全体計画に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動との関連を密にし、道徳の時間及び学校の教育活動全体を通して経験の拡充を図り、豊かな人間性と社会性を育てる。 ・「主として自然や崇高なものとの関わりに関すること」を意識し、評価に反映できるよう取り組む。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語を用いた体験的な学習活動を通して楽しくコミュニケーションを図ることができるようにする。
総合的な 学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で行うさまざまな体験を通して主体的に人と関わろうとする気持ちを育てる。 ・自ら課題を見つけたり、考えたりしながら、課題を解決する力を育てる。 ・交流及び共同学習などを通して、集団や社会の一員としての意識を育てる。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。 ・よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的態度を育てる。 ・自己の生き方について考えることができるようにする。
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の健康状態を把握し、生活リズムや生活習慣の形成及び健康状態の維持・改善に努める。 ・児童の感覚や認知の特性を踏まえ、状況に応じた認知や行動の手掛かりとなるような概念の形成を図る。 ・児童の障害の状態や特性、日常生活の状況を把握し、生活により適応した姿勢や身体の動きなどを育てる。 ・児童一人一人の持つコミュニケーション手段を選択・活用し、相手との円滑なコミュニケーションができるようにする。

(3) 学部運営の重点

楽しく安心して学べる学習環境の中で自立と社会参加につながる力を育む。

(4) 学部運営の方針

ア 自立と社会参加につながる確かな力を育むため、「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」を積極的に活用し、教育活動を推進する。

イ 自発性や主体性を育む「個の学び」と「集団の学び」のバランスよい配置や指導体制の工夫を図る。

ウ 学びの広がりや自己表現のアシストツールとして、ICT 機器を有効に活用して指導の効果を高める。

エ 健康で安全な学校生活が送れるよう、医療的配慮・医療的ケアや給食指導での衛生管理体制、緊急時の体制、人権や尊厳を尊重した環境づくりに努める。また、感染症や災害等から命を守るための教育環境の充実に努める。

オ 学部、家庭、医療機関、その他関係機関のそれぞれの役割や機能をお互いが理解し、連携を深める中で、指導の連続性と一貫性に努める。

カ ALT やボランティアなどの人材や地域資源などを積極的に活用し、地域や関係機関と連携した教育活動を進める。

キ 地域の小学校との交流及び共同学習の推進に努める。また、ニーズに応じた居住地校交流の推進を図る。

ク 訪問教育と在校教育との連携を深められるようオンライン学習を進め、相互理解できるように努める。